

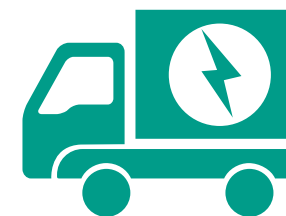
6.1 環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業〈環境配慮型先進トラック（電気自動車）導入事業〉

④ 荷主と連携したEVトラックと荷主施設内の充電設備導入によるエコドライブ

事業概要

事業者概要	事業者名	安立運輸株式会社 (ダイムラー・トラック・ファイナンシャルサービス・アジア株式会社)
	業種	運輸・郵便
事業所	所在地	東京都
	総延床面積	-
補助金額	補助金額	約733万円
	補助率	2/3 (掛かりまし経費に対する)
主な導入設備	従前設備	ディーゼルトラック
	導入設備	EVトラック (8トン未満) 1台
事業期間	稼働日	2022年2月
区分		更新
特長		電動トラックの新規導入により、軽油から環境に優しいエネルギーへの切り替えが実現でき、脱炭素社会推進に貢献した。エネルギー転換に伴い、ランニングコストが削減できた。また、荷主の施設内に充電設備を導入していることも大きな特徴である。

システム図



【EVトラック】

写真

導入車両



6.1 環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業〈環境配慮型先進トラック（電気自動車）導入事業〉

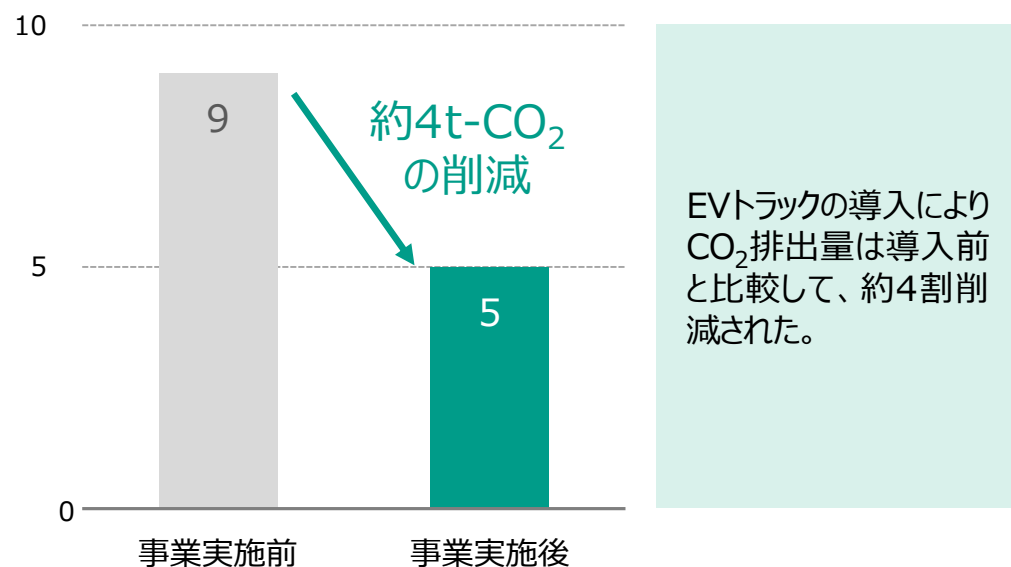
④ 荷主と連携したEVトラックと荷主施設内の充電設備導入によるエコドライブ

事業の効果

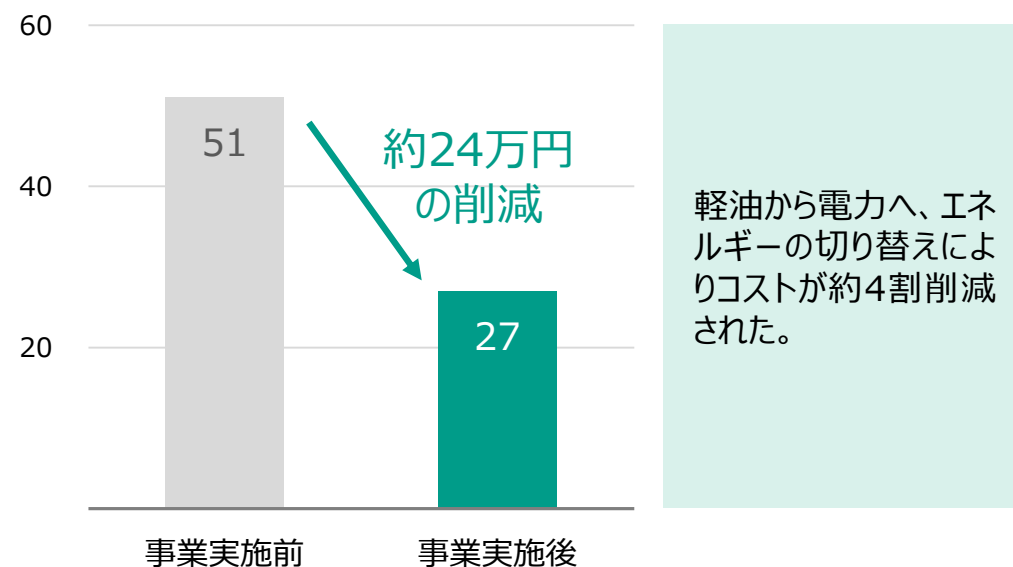
エネルギーコスト削減額		約24万円／年
投資回収年数	補助あり	約36年
	補助なし	約67年

CO ₂ 削減量	約4t-CO ₂ ／年
CO ₂ 削減コスト	366,172円／t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂／年)



エネルギーコスト (万円／年)



【脚注】

※ ここに示す事業の効果は、電力単価：22.5円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会）、軽油単価：142,000円／kL（出典：資源エネルギー庁HP）を用いて試算したものである。

④ 荷主と連携したEVトラックと荷主施設内の充電設備導入によるエコドライブ

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 「EVトラックの新規導入」によって、サプライチェーン全体のCO₂排出量削減に貢献した。

- 荷主から「カーボンニュートラル推進」の提案によりEVトラックを導入し、荷主と連携した取り組みを行い、CO₂排出量の削減ができた。充電設備は荷主施設内に設置されたものを活用している。主に新聞を積載し荒川区内で配送を行っている。

■ CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- エネルギーコストが高騰しているため、電力エネルギーへの転換により、ランニングコストの削減が実現できた。

サプライチェーン全体のCO₂排出量が削減



荷主との協力により、サプライチェーン全体のCO₂排出量が削減した。

ランニングコスト削減が実現

実施前 軽油の価額が高騰し、ランニングコストが高かった。



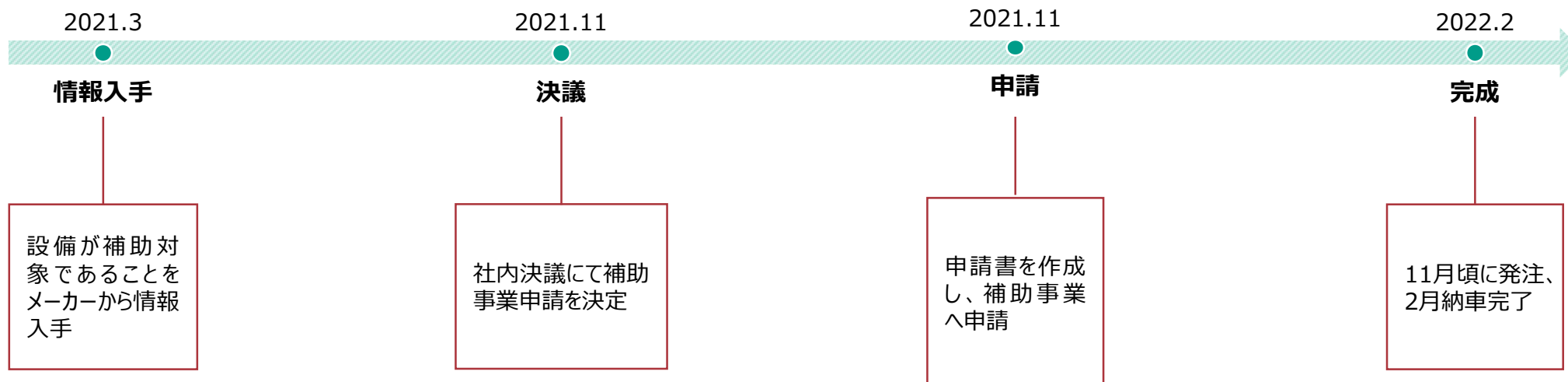
実施後 電力への転換により、エネルギーコストが削減できた。



エネルギーの転換により、ランニングコストが削減された。

④ 荷主と連携したEVトラックと荷主施設内の充電設備導入によるエコドライブ

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



矢倉屋 賢
統括本部 本部長

- 荷主からの提案により導入し、充電設備も荷主施設内に導入しており、荷主と連携した取り組みになっております。
- エネルギー転換によるコスト低減に加え、EVトラックに更新したことで運転時の騒音、振動も低減し作業環境の向上にもつながっております。